

おめでとう！世界遺産！

2014年6月21日「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されました！
世界の技術交流の実績を示す遺産として「世界共通の大きな財産」が群馬県から誕生致しました！

世界遺産として

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本が技術「交流」の近代絹産業に関する遺産です。日本が開発した生糸の大量生産技術は、かつて一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広め、現在も世界の絹産業を支え、生活や文化をさらに豊かなものに変えた「文化遺産」なのです。

富岡製糸場

近代日本の夜明け

明治2年（1872年）にヨーロッパの技術と日本独自の工法が融合してできた世界最大規模の製糸工場。近代日本を象徴する建造物として百数十年の時を経た今も圧倒的な存在感で訪れる人を魅了します。



錦絵「上州富岡製糸場」（明治5年）画像提供「富岡市・富岡製糸場」



錦絵「工女勉強之園」画像提供「富岡市・富岡製糸場」

建物の特徴

主要な建物は、木の骨組みに、壁に煉瓦を積み入れて造る「木骨(もっこつ)煉瓦造(れんがそう)」で建てられました。煉瓦という西洋の新しい材料を取り入れながら、屋根は伝統的な日本瓦で葺くなど、日本と西洋の建築技術を見事に融合して建てられました。



どんな工場だったのか

富岡付近は養蚕が盛んで、生糸の原料の繭が確保しやすい場所でした。繭を生糸にする繰糸工場には300人取りの繰糸器(そうしき)が置かれ、全国から集まった工女たちの手によって本格的な器械製糸が始まりました。ここで作られる高品質に重点を置いた生糸は海外でも好評でした。



見学について

開園時間：午前9時から午後5時まで（受付時間は午後4時30分までです）
休場日：年末 ※点検・整備等で臨時休場となる場合があります

区分	見学科	備考
大人	500円	■ 未就学児は無料
高校・大学生（要学生証）	250円	■ 障害者手帳をお持ちの方と介護者（1名）は無料です
小・中学生	150円	■ 表示金額は税込みです